

✦ ガバナーメッセージ

ガバナー公式訪問 真っ最中 ― 組織の簡素化とガバナー月信 ―



国際ロータリー第2750地区 2008-09年度ガバナー 新藤 信之

3年前は地区クラブ奉仕委員長・ロータリー情報委員長として、2年前はCLP担当地区研修リーダー補佐として、CLPをクラブへ推奨した責任上、ガバナー訪問の主要な仕事は、各クラブのCLPの現状把握となっております。

十人十色という言葉がありますが、CLPに対するクラブの取り組みも様々です。但し、CLPに対する理解で、共通している誤解があります。CLPの主要な要素に「組織の簡素化」がありますが、これについての理解に、共通した大いなる誤解があることです。

CLPの発案過程の歴史的背景として、1980年代後半からのクラブの拡大と会員増強に因る単一クラブの小粒化があります。こうしたロータリークラブ基盤の弱小化傾向の中で考案されたのがCLPであり、残念なことに、それ故に「組織の簡素化」が従来の推奨ロータリークラブ細則による委員会構成、つまり4大奉仕委員会を核とした14の小委員会計18委員会を念頭に、委員会数を減らすことと理解されたことです。

更に、従来の委員会構成と新たな推奨ロータリークラブ細則の委員会構成が当時の会長要覧、幹事要覧で対比され、しかも日本に紹介される際に「日本の風土」に合う形で「CLPに基づいたクラブ委員会試案」として、奉仕プロジェクト委員会の下に「職業奉仕委員会」「社会奉仕委員会」「国際奉仕委員会」という、CLPの基本的な考え方ではないものでCLPの委員会構成に取り入れられてしまったことが誤解を更に広げてしまう結果となりました。

CLPの基本的な考えのひとつは、四大奉仕部門を全ての委員会の基礎としてしているところです。クラブに相応しい委員会が考案され、それに基づいて委員会構成がなされたら、委員会数が2つであれ、5つであれ、18であれ、24であれ、そのクラブ委員会はすべて「四大奉仕部門に基づいた年次目標および長期目標を実行する責務を担う」のであり、職業奉仕委員会をクラブ委員会に取り入れた際、その委員会だけが「職業奉

仕」を担うのではないのです。

CLPが日本に取り入れられる過程で、従来の細則による委員会構成が残影として残り続け、それを下敷きにしてCLPによる委員会構成が考えられたことは、やむを得ないことではありましたが、今、私は「CLPのFeedback」が必要な時と各クラブに説いているところです。

いくつかのクラブにその兆候があるのを確認しました。組織としてのロータリーの活動には2つの要素があります。一つは「クラブ運営・管理」であり、もう一つは「クラブ奉仕活動」です。どの組織も、常に能率や費用対効果を考えながら改善しなければ制度疲労を起こしてしまいます。常に、クラブ運営・管理の方法を見直し、変えてゆかなければなりません。また、時代のニーズに従って、奉仕活動の分野・対象を変えなければ、地元地域社会からも国際社会からもロータリーは受け入れられなくなります。

CLPの委員会構成の基本は、このクラブ運営管理委員会と奉仕プロジェクト委員会の二つです。少人数のクラブも、大きなクラブも、ここから地域社会のニーズに対応したクラブに相応しい委員会と委員会構成を考案することが期待されているのです。

今年度、CLPによるクラブ組織とRI推奨の地区組織の整合性、継続性を考慮して、地区組織をCLPに対応する組織に変えました。地区組織の簡素化の一例として、ガバナー月信、IT、年次報告書作成の3つの委員会を一つにしました。月信は原則4ページとし、クラブ会長・幹事、地区役員だけに配布し、これまで、クラブと地区の活動記録を月信に載せたものを、地区ホームページ上に毎月更新するかたちで掲載することにし、その年間の活動記録を一纏めにしたものが年次報告書となるように考えました。これは経費の節減にもつながりますが、何よりも将来のロータリー広報のあり方を見据えた戦略と月信とホームページの機能増大を図りながら組織の簡素化を考えた結果です。

GM INDEX

✦ ガバナーメッセージ

✦ GETSを終えて

[2008-09年度 ガバナーエレクト 久邇 邦昭 (東京南RC)]

✦ 文庫通信／寄付報告／物故

✦ 出席報告／編集後記

<http://www.ri2750.org/>

✦ ガバナーからのお知らせ

「奉仕プロジェクトの指針となる座右の書」と次の三部作を地区地域社会奉仕委員会の縄委員長は推薦しています。

- 1) 奉仕の機会に関する項目 (605B-JA)
- 2) 地域社会の調査法の紹介 (605C-JA)
- 3) 活動する地域社会 (605A-JA)

今月号からTOPページの「各種資料」にPDFで載せました。私も推薦します。クラブの奉仕活動に是非お役立てください。

Governor' Official Visiting is now in the middle of way

- Simplicity of the organization and
Governor's Monthly Letter -

Major jobs of the Governor's Official Visiting are to place out the current status of CLP at each club in the responsibility of recommendation of the CLP to the club as a chairman of the District Club Service Committee and the Rotary Information Committee three years ago and a Assistant District CLP Training Leader two years ago.

We have a proverb that several men, several minds and so each club have his own effort to the CLP. But there are common misunderstandings of the perception of the CLP. Major element of the CLP is the simplicity of the organization, but we have a common and bigger misunderstanding for this.

As for the historical background of the proposal process in CLP, we had a small size of the single club organization that was dependent on the club expansion and increasing the memberships from the late 1980's. A CLP have been planned from the tendency on the weakness of the rotary club basis and the simplicity of the organization has been regrettably understood decreasing the number of the rotary clubs that was kept the committee organization in mind, that is to say total 18 committees that were made from the core of 4 major service committees and 14 small committees by a traditional Recommended Rotary Club Bylaws.

Besides the organization of the traditional committees and committees based on a newly Recommended Rotary Club Bylaws both were compared by the then President Handbook and the Secretary Handbook and when these committee organization was presented in Japan they were organized in the committee organization in CLP without any basic views of CLP for the Vocational Service Committee, Community Service Committee and International Service Committee under a Service Project Committee as a tentative plan of Club Committee based on the CLP that was applied for Japanese culture. That even makes our mutual misunderstanding more.

One of the basic views of the CLP is that the four Avenues of Service is based on all of committees. If any committee that is suitable for club is planned and the committees that numbers are 2, 5, 18 or 24 ones are organized on the basis on it, "Club committees are charged with carrying out the annual and long-range goals of the club based on the four Avenues of service". When the vocational service committee makes a club committee, this only committee is not always in charge of the vocational service.

In the process that the CLP went into Japan, an committee organization by the

traditional bylaws has been still remained as a vestige and it was perhaps inevitable that the organization on the CLP was planned based on it. From now on I will ask to the clubs that the feedback of the CLP is needed.

I recognize that some of the clubs show the sign of it. There are two elements for the rotary activities as an organization. One is the club operation and management and another is the club service activities. Every organization feels the system weariness if he improve to think of the efficiency and the cost effectiveness all the time. The organization has to revise and change the way of the club operation and management.

And according to the needs of the era, if the scope and object of the service activities are changed, local and international society can not accept the rotary. The basis of the committee organization of CLP has the club operation & management committee and the service project committee both. The small-sized club or the large-sized club are expected that they plan the committee that is suitable to meet the needs of local society and the committee organization.

In this Rotary year, the district organization has changed to be suitable for the CLP based on the consistency and the continuity between the club organization by CLP and RI recommended district organization. As an example of the simplicity of the district organization, we have organized the Governor's Monthly Letter, IT and the Annual Report Committees respectively. The letter makes four pages as a rule and it is only distributed to the club president, secretary and the district officer and the activity records among the clubs and the district is uploaded as the monthly letter at the district web site every month. The annual report is thought as a bundle of the annual activity records. This makes reducing the cost and results as primarily the future strategy of the way of rotary publicity and the simplicity of the organization that plans with a function growth of the Governor's monthly letter and the district home page.

GETS (GOVERNOR ELECT TRAINING SEMINAR) を終えて

2008-09年度 ガバナーエレクト 久邇 邦昭(東京南RC)

セッションでの
久邇ガバナーエレクト

「ああ疲れた…。くたびれたなあ…。」GETSが終って我が家の玄関を開けた時、口をついて出た呟きです。

今年のGETSは9月14日(日)・15日(月)の連休に新横浜プリンスホテルで開催されました。必携書物は「ガバナー要覧」(2009-10)という分厚い書物と「2007年 手続要覧」、それにガバナー事務所から送られてきた(GETS)というパンフレットとプログラムの説明書。

進行につき要約すれば、9月14日(日)8:00~8:50と16:30~17:40は本会議で配偶者同席、始めの部ではリーダーの紹介、挨拶、終りの部ではロータリーの友と米山記念奨学会の説明、この間は5つのセッションに分れ、責務および目標設定、地区リーダーシップ・プラン、コミュニケーション、会員増強、地区指導者の育成につき論求、このあと18:00~20:00が夕食懇親会で幕。

(配偶者プログラムについては後述します。)

9月15日(月)8:00~14:20、4つのセッション、奉仕プロジェクト、ロータリー財団プログラム、寄付増進とシェア、RIからガバナーへの支援業務につき論求、14:30~16:00は本会議で配偶者同席、国際協議会の予備知識、旅行社による国際協議会旅行の説明、質疑応答および評価書記入、閉会の挨拶。以上でお開き、家路を辿るというわけですが、研修チーム・リーダーが夫々のアイテムについて概略説明の後、各DGE(2チームに分かれているので17人)に質問して答えを求めます。例えば、第1セッションでは「ガバナーとして最も難しい責務は何ですか…」、第7Aセッションでは「クラブに参加してほしいと思うのは、どの財団プログラムですか…」等々。そして、その後、2~3人ずつまとめて、夫々に別の色々な問題を10分ほど討論させ、結果を順に報告させる。余程



34 地区のガバナーエレクトが一堂に集合



ガバナーエレクトの配偶者もロータリーを学ぶ

前もって研究して考えてゆかないと答えられない設問が殆んどでした。外国、殊に米国や欧州では小学校の頃から先生が突然質問をする、又、クラスを2つに分けて、ある問題をYESの組とNOの組に見立てて討論させるという事があると聞いています。個人が中心の競争社会では討論で負けない事が大切なのだと思ったわけですが、ロータリーの中にもこうしたやり方、精神が生きているのでしょうか。

日本は領土問題にしても、その他の国際問題でも主張が下手でやられてしまう事がよくあるように思いますが、ロータリー活動の中でも主張はきっちりとして、前向きに動いてゆかねばならぬと思います。

それから最後の本会議で、評価書の記入提出が求められましたが、研修リーダーの説明が適切であったか、その時間が短かすぎたか、丁度よかったか等の評価を書かされました。私の頃の学校では、授業の後で、先生の評価書を出すなど考えられなかったのですが、研修リーダーもロータリーの仲間、先輩という事で、こうした評価が次のGETSに役立つわけなのでしょう。それから配偶者プログラムですが、国際ロータリーについて、ロータリーの歴史と理念、ロータリー財団について、配偶者の心得とロータリーの楽しみ方、米山奨学生スピーチ等であったようです。

やれやれですが、GETSに漲る意欲を感じ、「一つやるか…」という気力が湧いてきたように思います。

GETS 本会議の様子



✦ 米山功労者ご紹介

ご協力を感謝致します

米山功労者	村野 順三君	東京町田	2008.8.4	16
	佐竹 竜恵君	東京蒲田	2008.8.7	2
	佐藤 勇二君	東京蒲田	2008.8.7	5
	大瀧 泰郎君	東京中央	2008.8.8	2
	安西 清君	東京飛火野	2008.8.8	2
	菅野 修逸君	東京武蔵府中	2008.8.13	1
	坂口 功君	東京中央	2008.8.18	40
	望月 耕次君	東京日本橋	2008.8.20	5
	金原 信彦君	東京立川	2008.8.20	1
	出口 尚明君	東京西	2008.8.22	3
	半田 裕明君	東京西	2008.8.22	1
	樋口 喜一君	東京西	2008.8.22	5
	岩本 猛君	東京西	2008.8.22	1
	春日井 宏君	東京西	2008.8.22	1
	松井 幹雄君	東京西	2008.8.22	3
	大和田 弘君	東京西	2008.8.22	3
	堀野 雅章君	東京杉並	2008.8.22	10
	市原 聖功君	東京立川	2008.8.25	1
	田中 宏明君	東京立川	2008.8.25	3
	村田 龍二君	東京西	2008.8.26	1
	舟木 いさ子君	東京白金	2008.8.26	16
	井上 和子君	東京白金	2008.8.26	13
	小島 知明君	東京田園調布緑	2008.8.27	13
	盛本 正英君	東京南	2008.8.29	1
	山内 喬之君	東京南	2008.8.29	1
	加藤 進弘君	東京蒲田	2008.8.29	4
	天野 欽也君	東京武蔵府中	2008.8.29	2

✦ ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝致します

◎猪鼻 康子君	東京大井	2008.8.1
◎栗山 誠一君	東京大井	2008.8.1
◎高橋 茂樹君	東京世田谷	2008.8.1
◎妻鹿 健次郎君	東京世田谷	2008.8.1
廣瀬 武彦君	東京八王子南	2008.8.1
◎柴田 穰一君	東京八王子南	2008.8.1
◎市村 博君	東京立川	2008.8.1
住吉 陽君	東京中央	2008.8.8
山田 伸子君	東京レインボー	2008.8.15
◎井上 敏之君	東京城南	2008.8.15
神戸 三元君	東京品川	2008.8.22
◎加藤 祐一君	東京品川	2008.8.22
◎清水 義純君	東京品川	2008.8.22
◎堀野 雅章君	東京杉並	2008.8.22
◎森村 潔君	東京南	2008.8.29
◎野村 正道君	東京芝	2008.8.29
小高 愛二郎君	東京中央	2008.8.29
大橋 幸雄君	東京中央	2008.8.29
◎山田 和之君	東京中央	2008.8.29
加藤 進弘君	東京蒲田	2008.8.29
◎今西 駿太郎君	東京京浜	2008.8.29
◎久米 正資君	東京京浜	2008.8.29
◎小俣 昌道君	東京京浜	2008.8.29
◎坂部 貢君	東京白金	2008.8.29
野末 泰子君	東京渋谷	2008.8.29
◎鈴木 剛君	東京渋谷	2008.8.29
市原 聖功君	東京立川	2008.8.29

✦ 新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝致します

菊地 学自君	東京マリーン	2008.8.1
谷口 智治君	東京世田谷	2008.8.1
永井 保彦君	東京西	2008.8.22
菊地 秀三君	東京昭島	2008.8.22
大和田 弘君	東京西	2008.8.29
村田 龍二君	東京西	2008.8.29
鈴木 忠君	東京町田サルビア	2008.8.29

✦ 文庫通信 (252号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

また、一部の資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

—— 地区大会記念講演より ——

◎「世界の現状と日本の針路」

奥田 碩 2007 15p (D.2760)

◎「今、日本が直面する内外の課題」

櫻井よしこ 2007 10p (D.2570)

◎「世界の潮流と日本の進路」

寺島実郎 2007 9p (D.2660)

◎「国家の品格」

藤原正彦 2007 4p (D.2650)

◎「新政権でも改革と挑戦は続く～求められる幾百人のリーダーたち」

佐々木 毅 2007 8p (D.2540)

◎「地域から交流する日本～オホーツクへの期待」

月尾嘉男 2007 3p (D.2500)

◎「歴史から見た大阪～浪華の民活」

松平定知 2007 4p (D.2660)

◎「自然のすごさに学ぶ」

石田秀輝 2007 20p (D.2800)

◎「夢をもたらず氷の世界」

本堂武夫 2007 8p (D.2510)

◎「人と地球の命のために — 今、私達にできること」

C.W.ニコル 2007 6p (D.2820)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー



文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

✦ 深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



廣瀬 一隆(東京芝RC)

2008年7月7日逝去(享年74歳)

1981年3月25日入会

1999年～2000年度 クラブ幹事

2006～07年度 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー(マルチプル5回)

米山功労者(マルチプル3回)



岩崎 稔(東京蒲田RC)

2008年9月11日逝去(享年82歳)

1991年6月25日入会

1999年～2000年度 第13代クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者(3回)

★国際ロータリー第2750地区出席報告（8月分）★

District 2750 Membership Attendance Report August 2008

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			
				08年7月1日	08年8月末	増減					08年7月1日	08年8月末	増減	
千代田グループ	東 京 南	3	78.91	179	179	0	多摩南グループ	東 京 八 王 子	3	90.48	60	66	6	
	東 京 芝	3	90.01	95	94	-1		東 京 町 田	4	75.99	61	59	-2	
	東 京 新 橋	3	76.73	54	55	1		東 京 日 野	3	84.38	43	43	0	
	東 京 赤 坂	4	70.34	54	53	-1		東 京 八 王 子 西	4	90.90	68	68	0	
	東 京 み な と	3	79.24	52	52	0		東 京 町 田 ・ 中	3	84.20	40	41	1	
	東京レインボー	3	83.33	48	48	0		東 京 八 王 子 東	3	87.09	31	31	0	
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	3	71.50	22	22	0	東 京 八 王 子 南	3	87.46	56	59	3		
	東 京 銀 座	3	72.76	162	162	0	東京町田サルビア	3	100.00	27	27	0		
	東 京 日 本 橋	3	80.24	174	174	0	東 京 飛 火 野	3	74.74	32	33	1		
	東 京 築 地	3	83.06	70	73	3	東 京 町 田 東	3	69.00	31	31	0		
	東 京 日 本 橋 東	3	76.36	54	57	3	東 京 八 王 子 北	2	72.58	33	33	0		
	東 京 中 央	3	78.41	230	233	3	東 京 立 川	4	92.89	88	91	3		
京浜グループ	東 京 日 本 橋 西	3	85.27	49	49	0	東 京 小 金 井	3	98.03	40	39	-1		
	東 京 銀 座 新	4	78.76	76	77	1	東 京 国 分 寺	3	97.17	54	54	0		
	東京シティ日本橋	4	73.40	50	50	0	東 京 三 鷹	3	78.80	48	48	0		
	東 京 中 央 新	3	55.20	38	38	0	東 京 昭 島	3	80.73	50	50	0		
	東 京 羽 田	3	87.93	45	50	5	東 京 国 立	3	99.20	56	56	0		
	東 京 大 森	3	97.19	52	52	0	東京立川こぶし	3	80.51	85	87	2		
山の手東グループ	東 京 荏 原	3	71.43	44	46	2	東 京 井 の 頭	3	92.60	25	27	2		
	東京田園調布	4	86.19	46	48	2	東 京 昭 島 中 央	4	80.00	31	31	0		
	東 京 蒲 田	3	89.13	60	62	2	東京武蔵国分寺	3	92.59	57	57	0		
	東京荏原かめりあ	3	69.44	12	12	0	東京小金井さくら	3	71.21	22	22	0		
	東京田園調布緑	3	93.94	23	25	2	東京国立白うめ	3	81.66	25	25	0		
	東 京 品 川	3	81.67	67	67	0	東 京 府 中	3	76.68	65	65	0		
	東 京 大 井	3	78.43	17	17	0	東 京 調 布	3	85.02	69	69	0		
	東 京 港 南	3	64.91	19	19	0	東 京 多 摩	2	76.79	25	28	3		
	東 京 大 崎	4	91.30	33	35	2	東 京 狛 江	4	90.00	34	33	-1		
	東 京 京 浜	3	78.25	23	23	0	東 京 稲 城	3	68.57	35	35	0		
	東 京 マ リ ー ン	3	81.48	18	18	0	東京武蔵府中	4	84.56	52	54	2		
	東 京 白 金	3	75.80	33	33	0	東京たまがわ	3	70.10	26	26	0		
	東 京 高 輪	2	81.13	28	29	1	東京多摩グリーン	2	87.88	32	34	2		
	東 京 西	4	77.94	157	158	1	東京調布むらさき	3	84.55	79	82	3		
山の手西グループ	東 京 城 西	3	82.69	75	80	5	バシフィック・ペイシンググループ	Guam	4	47.46	63	64	1	
	東 京 西 南	3	78.69	59	61	2		Saipan	4	49.00	45	44	-1	
	東 京 原 宿	3	87.39	31	31	0		Tumon Bay	4	45.37	96	100	4	
	東 京 杉 並	3	78.63	44	44	0		Northern Guam	4	57.03	34	36	2	
	東 京 神 宮	3	71.66	40	40	0		Pohnpei	5	35.00	20	20	0	
	東 京 恵 比 寿	3	68.50	100	100	0		Palau	4	75.00	16	16	0	
	東 京 広 尾	2	59.68	32	32	0		Guam-Sunrise	4	56.00	34	34	0	
	東 京 渋 谷	3	70.54	45	47	2		Truk Lagoon	5	75.00	7	7	0	
山の手東グループ	東 京 六 本 木	3	69.00	52	51	-1	国内83クラブ計				4,478	4,556	78	
	東 京 世 田 谷	3	85.70	49	60	11		地区91クラブ計				4,793	4,877	84
	東 京 目 黒	3	81.20	48	49	1								
	東 京 成 城	3	89.33	25	25	0								
	東 京 世 田 谷 南	3	82.00	92	94	2								
	東 京 城 南	2	59.00	28	29	1								
	東 京 山 の 手	3	82.61	68	70	2								
	東 京 成 城 新	3	78.29	43	44	1								
	東 京 青 山	2	75.60	31	32	1								
	東京自由が丘	3	85.00	20	21	1								
山の手西グループ	東京世田谷中央	3	84.02	32	32	0	千代田グループ		78.58	多摩南グループ		83.35		
							銀座・日本橋グループ		75.94	多摩中グループ		87.12		
							京浜グループ		81.88	多摩東グループ		80.46		
							山の手東グループ		74.47	P B グル ー プ		54.98		
						山の手西グループ		80.28	平 均 出 席 率		78.41			

編集後記

本号の「ガバナーメッセージ」で、今年度のガバナー月信・IT委員会の成り立ち・あり方についてガバナーが書かれております。当委員会も7月より、これを念頭にガバナー月信・ホームページの製作に取り組んでまいりました。新しい試みなので、是非とも強力なご支援をお願い致します。

今号の2ページには、久邇邦昭ガバナーエレクトのGETSの文章を掲載させて頂きました。またホームページ上では「地区活動通信」の中に、ガバナー公式訪問のページを新設致しますので併せてご覧下さい。

2008-09年度 ガバナー月信・IT委員会 副委員長(月信担当) 浅見 省三(東京立川こぶしRC)

国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2008

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三

竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美 山見 真弘 木村 清信 高柳 数利

ガバナー月信・IT委員会副委員長(IT担当) 河村 勝久

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>